

【札幌市】

札幌市

市立札幌山の手支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒063-0005 札幌市西区山の手5条8丁目1番38号
☐ 問合せ先 TEL 011-611-7934
 FAX 011-644-5535
 E-mail yamanote-ejh@sapporo-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <https://www23.sapporo-c.ed.jp/yamanote/>



■本校の概要

- ☐ **学校教育目標**
 心身の健康回復や改善を図り、一人一人の可能性を伸ばし、心豊かにたくましく生きぬく児童生徒を育てる。
- ☐ **概要**
 本校は、様々な病気やその他の障がいをもつ児童生徒が、独立行政法人国立病院機構北海道医療センターに入院又は医療センター等の医療機関に通院し、治療や療育を受けながら学ぶことができる学校で、小学部・中学部・高等部があります。高等部は、昭和44年に開設されました。



■ 特色ある教育活動（高等部）

運営方針

「おかげさま」のあふれる学校づくり
 ～心理的安全性を基盤とした教育活動の展開～

- 各教科・科目等の指導の他、病気に対する理解や、自己管理能力、自己選択力、自己決定力の向上を図る指導支援を行っています。
 - 医療機関との連携を図り、慢性疾患のため継続した治療や生活管理を必要とする生徒たちに指導支援をしています。
 - 小学部・中学部に併設しており、異年齢との交流や共同活動を通して、自立や社会参加への意識が育つことを目指しています。
 - 普通学級の定員は1学級8名で、重複障がい学級の定員は1学級3名です。少人数であることを生かして、きめ細やかな指導支援を行っています。
- 校舎はバリアフリーとなっており、安心して学習できる環境です。エレベーターの設置や、身障者用トイレの設置、障がいの状態や特性に応じた机や椅子の配置や設置、補助具の設置をしています。特にICT機器の積極的な活用に努めています。
- 冷暖房が完備されており、病状に合わせた室温 調整が可能な学習環境です。



数学



家庭：調理



生物基礎



国語



外国語



生徒会議

■第1学年生徒の週時程表(例)

【 普通科普通学級 】 1学年 例

	月	火	水	木	金
1	歴総	科学人	BS	英Ⅰ	家庭
2	家庭	BS	数Ⅰ	言文	現国
3	科学人	保健	英Ⅰ	歴総	体育
4	言文	現国	芸術	自立	数Ⅰ
5	情報	体育	芸術	LHR	総合
6	英Ⅰ	数Ⅰ	—	選択	選択

【 普通科重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1	LHR	数学	社会	道徳	職業
2	職業	英語	情報	美術	職業
3	職業	音楽	理科	美術	体育
4	体育	HR	音楽	自立	社会
5	理科	家庭	国語	HR	総合
6	国語	家庭	—	数学	英語

※「総合」は総合的な探究の時間

* 登校時間 8:35~8:50 (月・火・水・木・金)

* 下校時間 15:40 (月・火・木・金) / 14:40 (水)

■教育課程の特徴

□ 自立活動

生徒一人ひとりの実態に応じて、自己理解や自己管理能力の育成、コミュニケーション等について学習します。

□ 各教科・科目

個別の指導計画を作成し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、これらを活用して課題を解決できる力を育てています。

□ 学校設定科目等

中学校の学び直しができる「BS（バックスデイ）」、将来の進路について学習する「キャリア探究」などの学校設定科目があり、多様な選択ができます。

□ 芸術

普通学級では、書道・美術・音楽より選択して学習しています。

□ 職業

重複障がい学級では、作業学習や現場実習など、進路に関わる学習を行います。

■卒業後の主な進路先について（令和4年度からの累積実績を記載）

- 一般就労（就労継続支援A型含む）～1名【サービス業】
- 福祉的就労（移行支援／就労継続支援B型／生活介護／自立訓練）～3名
- 進学
- その他～2名（自宅療養、通信制大学科目等履修生等）

学校Webページ



札幌市

市立札幌北翔支援学校

寄宿舎：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒063-0831 札幌市西区発寒11条6丁目2-1
 □ 問 合 せ 先 TEL 011-668-5161
 FAX 011-668-5163
 E-mail hokusho-jh@sapporo-c.ed.jp
 □ 学校Webページ <http://www.hokusho-jh.sapporo-c.ed.jp>



■本校の概要

- 学校教育目標
 「自分らしく 心豊かに 暮らす」
- 目 指 す 姿
 ○個性を発揮しながら主体的に生活する児童生徒
 ○人との交流や興味・関心のあることを広げ楽しむ児童生徒
 ○家族や地域の人たちと共に生きる児童生徒

□ 概 要

本校は平成16年に豊成養護学校中学部と高等部を合わせ、発寒の地で開校しました。また、平成28年度に小学部が設置されて、小学部・中学部・高等部がそろい、新たにスタートしました。

肢体不自由とそれ以外の重度障がい重複する子どもたちが、安全・安心な学校生活を過ごし、それぞれの自立に向けた目標を達成できるように、12年間の連続した教育課程の編成・実施に努めています。



■ 特色ある教育活動

高等部の目指す姿 発信する

- 卒業後の社会参加を意識しながら、自らの意思を伝えようとする。

【 自立活動・からだづくり 】

本校では、自立活動Ⅰ（個別学習）、Ⅱ（給食の時間）、Ⅲ（生活の時間）、Ⅳ（からだづくり）の分野に分けて指導を行っているほか、教育活動全般において、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養うことを目指しています。また、療法部との連携を密にとり、本校の理学療法士、作業療法士の助言・指導を受けながら、日常生活全般において適切な姿勢や動作をとるための指導実践に努めています。特にⅣ（からだづくり）では、療法部職員と個々の課題に応じた学習を行っています。

【 医療的ケア 】

日常的に医療的ケアが必要な生徒に対して実施しています。医療的ケアとは、生徒が学校生活を送る上での健康状態の維持・改善のための喀痰吸引・経管栄養等、医師の指示のもと必要なものを指します。学校看護師と研修を受けた教員が医療的ケアを実施します。

【 北翔の給食 】

給食は、食育として重要な教育活動です。「生活リズムの安定」「いろいろな味に親しむ」「コミュニケーションスキルの獲得」を目標として取り組んでいます。秋のハーベスト給食・卒業リクエストも行っています。生徒一人一人の摂食機能および食事動作の向上を目指し、普通食から準備食（裏ごし）までの5段階の食形態で給食室から提供しています。また、アレルギー対応も細やかに実施しています。



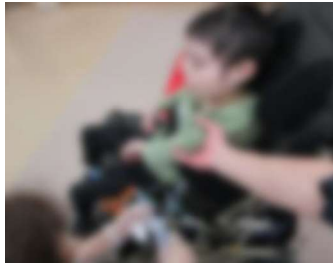
個別学習の様子



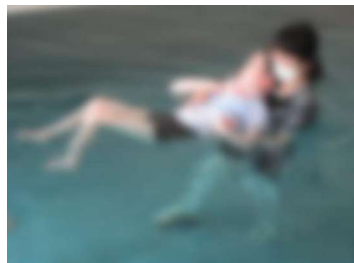
からだづくりの様子



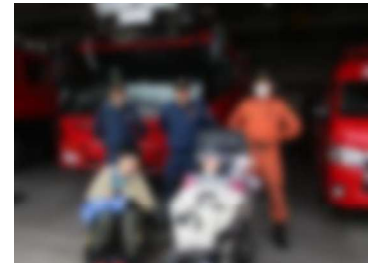
給食の様子



医療的ケアの様子



プールの様子



校外での学習の様子

■第1学年生徒の週時程表

【普通科 第1学年の時間割】

	月	火	水	木	金
登校	9:15～ 登校・健康観察 9:30～ HR（朝の会）				
1	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ	自立活動Ⅰ
生活	自立活動Ⅲ（20分）				
2	自立活動Ⅰ	HR	からだづくり	数学	社会
生活	自立活動Ⅲ（20分）				
3	プール	美術	社会	家庭科	からだづくり
給食	自立活動Ⅱ（80分）				
4	数学	国語	家庭科	職業	理科
下校	14:20～ HR（帰りの会） 14:30～ 下校				

※総合的な探究の時間については、「重複障害者等に関する教育課程の取扱い」により自立活動に替えています。

- * 登校時間 9:15
- * 下校時間 14:30

■教育課程の特徴

毎日1校時に自立活動の時間を設け、学級職員と個別の課題に応じた活動を行っています。その日1日を学校で過ごすために心身を整える時間としています。

週に2回、からだづくりの時間が設けられ、本校の理学療法士、作業療法士と個の実態に応じた学習を行っています。

高等部では国語、数学、理科、社会、音楽、美術、保健体育、職業、家庭の各教科や道徳、特別活動の学習を行っています。集団学習と個別学習を組み合わせながら個々の目標達成に向けて学習しています。

社会では目的に応じ、近隣の公共施設や商業施設の利用、商店街との交流、散策活動などを行っています。

保健体育では通年で月に1回程度プール学習を行い、個別の課題に応じた水中での体の動きを学んでいます。

職業では、自分の過去や現在、卒後の生活について考えるキャリア教育を行っています。その一環として、施設実習のオリエンテーションや報告会などを行い、学部の仲間と交流しながら学習しています。

特別活動として、学部集会や年2回の校外学習、宿泊行事、生徒会活動、学校祭、他校交流などを行っています。

■卒業後の主な進路先について（※令和5年実績）

※令和6・7年度は高等部卒業生の在籍はありませんでした。

- 福祉的就労（移行支援／就労継続B型／生活介護／自立訓練）～ 生活介護事業所 5名

学校Webページ



札幌市

市立札幌豊明高等支援学校

寄宿舎：無

スクール便：有

■学校の基本情報

- ☐ 住所 〒002-8034 札幌市北区西茨戸4条1丁目1-1
☐ 問合せ先 TEL 011-774-2222
 FAX 011-774-0764
 E-mail homei-h@sapporo-c.ed.jp
☐ 学校Webページ <http://www.homei-h.sapporo-c.ed.jp/>



■本校の概要

□ スクールミッション（学校教育目標）

「自分の人生をより良く生きようとする生徒を育て
社会のウェルビーイングを実現します」



自分の人生をより良く生きようとする人

□ 私たちの教育理念（グラデュエーションポリシー）

生徒たちが、卒業した後も自分の人生をより良く生きようとするために、目に見える成果だけでなく、目に見えない「根っこ」の育ちに目を向けたい。そのために、豊明が大切にしたい3つの価値を、学校に関わる全ての人と共有しながら学習活動を展開していきます。



□ 概 要

本校は、知的障がいのある生徒を対象とする札幌市立の養護学校（普通科）として、昭和52年度に開校し、平成5年度から職業学科を設置する高等養護学校となりました。また、平成29年度には校名を「市立札幌豊明高等支援学校」に変更し、職業学科を5学科（流通サービス科・クリーンサービス科・リサイクルサービス科・工芸ものづくり科・服飾ものづくり科）に再編しています。今年度は全校で127名の生徒が在籍しています。

■特色ある教育活動

【学科共通で大切にしている学び】

1 社会性と思いやりを仲間と学び合う

コミュニケーション活動を通して思いやりと社会性を学ぶプログラムを全校で展開し、学びの土台を築きます。

2 AARサイクルで主体的に学ぶ

学習の目的やゴールを見通し、自分に合った学び方で自分なりに行動し、どんな価値に気付いたかなどを振り返るというサイクルで、学習者主体の学びを大切にします。

3 「はたらく」を通して生き方を考える

「授業や学校での学び」と、「専門教科実習や現場での実践」の往還を通して、「はたらく」に向き合います。

【学科別の学び（専門教科実習）】

「流通サービス科」「クリーンサービス科」「リサイクルサービス科」「工芸ものづくり科」「服飾ものづくり科」の5つの学科では、地域との連携による受注作業や、自主製品製作などの各学科の特色を活かした学習を行っています。（次ページ写真参照）

【ウェルビーイングな公園プロジェクト】

百合が原公園で実施されている「Park-PFI事業」に参画し、本校では、地域住民や民間企業、行政などと連携しながら、生徒の育成に取り組んでいます。

公園内にあるLiliLiカフェでは、各学科の特色を生かし、エプロンやマグカップ、皿などの製作に加え、実際の営業時間中に接客や清掃などの実習を行っています。

また、授業や会議を通して、生徒・教職員・保護者が自由にアイデアを出し合い、魅力あふれる公園づくりを目指しています。こうした活動を通して、主体的・協働的に学び力を育むとともに、地域とともにウェルビーイングの実現につながる学びを推進しています。

【学科別の学び（実習）】



リサイクルサービス科：
電子機器の解体



クリーンサービス科：
LiLiLi現地実習



服飾ものづくり科：
製品づくり



工芸ものづくり科：
窯業製品づくり



流通サービス科
：自動販売機管理



現場実習

■第1学年生徒の週時程表

	月	火	水	木	金
	朝の（自立）活動				
1		国 社 数 理 外			国 社 数 理 外
2	専門	家庭 ／ 美術	専門	専門	音楽 ／ 情報
3		美術 ／ 家庭			情報 ／ 音楽
4	ジョ ブ ト レ ／ 総探	国 社 数 理 外	国 社 数 理 外	国 社 数 理 外	HR 活動
5		職業	道徳/ 保体	各教 科等	HR 活動
6		HR 活動	保体/ 道徳		
	帰りの（自立）活動				

※総探は「総合的な探究の時間」

*登校時間 8:50（月・火・水・木・金）

*下校時間 14:55（月・木・金）

15:50（火・水）

■教育課程の特徴

- 1 専門（主として学科に開設される各教科）
学科ごとに、以下の教科を実習形式で学びます

学科名	学科別に開設される教科名
流通サービス科	「流通・サービス」
クリーンサービス科	「家政」
リサイクルサービス科	「工業」「流通・サービス」
工芸ものづくり科	「工業」
服飾ものづくり科	「家政」「工業」

- 2 各学科に共通して開設される各教科等
国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業、家庭、外国語、情報、特別の教科道徳、特別活動、総合的な探究の時間、自立活動があります。
- 3 自立活動
個別の「自立活動の目標」の達成を目指して学習します。課題別学習では、「健康」、「身体をつかう」、「まわりを見る」、「コミュニケーション」、「人間関係」、「心の安定」に関する活動を選択します。

■進路指導

専門教科や職業の学習、現場実習等、校内や校外で得た知識や経験を踏まえて、自分に合った進路を自己選択・自己決定できることを目指しています。

【進路指導の取組】

1 学年では、6日間の現場実習の中で、グループごとに5つの業種の職場体験と、1日かけて複数の企業および福祉事業所を見学する職場見学を行っています。

2 学年では、9月と10月に1週間ずつの現場実習を2回行い、その後に「進路ガイダンス」や「進路希望調査」で、自分の希望する進路先(職種等)を決定します。

3 学年では、1学期に2週間、2学期にも2週間の現場実習を行って最終的な進路先を決定します。

■卒業後の主な進路先について（令和7年度実績）

- ☐ 一般就労(就労継続A型含む) ～23名【販売・流通業 製造・清掃業 事務など】
- ☐ 福祉的就労(移行支援/就労継続B型/生活介護/自立訓練)～14名【就労移行支援 就労継続B型など】
- ☐ 進学 ～0名
- ☐ その他 ～1名

学校Webページ



札幌市

市立札幌みなみの杜高等支援学校

寄宿舍：無

スクールバス：無

■学校の基本情報

- 住 所 〒005-0012 札幌市南区真駒内上町4丁目7番1号
- 問 合 せ 先 TEL 011-596-0451
FAX 011-588-5020
E-mail minaminomori-h@sapporo-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.minaminomori-h.sapporo-c.ed.jp>



みなみの杜

■本校の概要

- 学校教育目標
「さあ 出発！～共に歩み 共に感じ 共にひらく～」

- 校 訓
「らしくあれ」

- 概 要

本校は平成29年に南区真駒内に開校した知的障がいの
ある生徒を対象とした高等部のみの特別支援学校です。

生徒個々の特性等を踏まえ、地域や企業などと協働して
「ホンモノ」の学びを積極的に取り入れることにより、

自分らしく生き生きと社会の中で活躍する生徒を育成することを目指しています。



■ 特色ある教育活動

自分らしく生き生きと社会の中で活躍する生徒を育てる

【 普通科（職業コース） 】

本校の「普通科」は、進学を目的とした学習を行うわけではありません。入学時に所属するコースを決めず、1年生で6つのコースを全て経験して広く柔軟に学び、2年生に上がるときに自分の希望や適性などを考慮してコースを選択（コース定員有）して、所属したコースで2年間学びを深めます。

また、所属コースが決定した後も他コースで学ぶことができる仕組みもあります。この柔軟な学び方が可能となるのが、本校の「普通科（職業コース）」の特色です。

【 協育 ～ 地域社会との協働による専門的な教育 ～ 】

企業等の協育アドバイザー、ゲストティーチャー等からの専門性の高い学びを実現しています。

また、地域へ積極的に出向き「ホンモノ」の学びを積み重ねます。協育サポーター（地域の方、卒業生や卒業生の保護者等）にもお手伝いいただき「地域で、地域と共に」学ぶことを大切にしています。

【 杜cafeを中心とした6つの職業コース 】

ストア（接客・流通業）・キッチン（食品製造業）・アグリ（農業・食品加工業）・ファクトリー（製造・整備業）・クリーンアップ（清掃・美装業）・サポート（介護・保育業）の6つの職業コースがあります。各コースでは、2年生でコース運営、3年生でコース経営をすることにより、実践的な働く力を育てます。またそれぞれの専門性でカフェを支え、つながりあう社会の産業構造を学びます。

【 ふりかえり、挑む 】

ふりかえること、変化を恐れず挑戦することを大切にしています。自分で考え、動き、結果を受け止め、ふりかえり、相談し、次へつなげる。みなみの杜は、生徒が主役の学校です。

【 自己選択・自己決定を支える進路支援 】

3年間で約90日、約20ヶ所の職業体験を通して、自分の適性を知り、職業観を広げ、勤労観を深めていきます。その上で、何度も自分をふりかえり、自らの進む道を探っていきます。みなみの杜では、就労率ではなく、本人の納得感を大切にした進路支援をしています。



杜c a f e



協育アドバイザー



地域協働



ふりかえり



協育実習



部活動

■第1学年生徒の週時程表(令和8年度)

	月	火	水	木	金
	生活基礎				
1	LHR	職業Ⅰ	家庭	教科	保健 体育
2	家庭	実習	情報	職業Ⅰ	
3	情報		教科	実習	総合
4	生活基礎		生活基礎		総合
5	教科		音楽		LHR
6			美術		

総 合：総合的な探究の時間

教 科：国語・社会・数学・理科が入ります

※ 時期によって協育実習が入ります

* 登校時間 8:40

* 下校時間 14:25 (月・火・金)
15:20 (水・木)

■教育課程の特徴

地域社会の現場から学ぶことや主体的に学びを創り上げることが大切になっています。

□ 生き抜く力を育てる学び(教科学習)

受験を目指した知識を身に付ける学習ではなく、教科の専門性に触れおもしろさを感じたり、学んできた学習と生活を結び付ける学習をします。意見を交流して自分なりの考えをもったり、共同して企画実施をしたりしながら学んでいきます。

□ 働く力を育てる学び

生徒主体のコース運営で、主体的に組織の中で仕事をすることを学びます。プロからの最新で専門的な指導、質の高い授業で技術と想いをもったみな杜らしい未来の職業人になっていきます。現地で学んでくる現地学習、地域で働く地域実習、共に創り上げる地域協働、様々な学び方で即戦力が育ちます。

□ 生徒会、局・部活動

生徒会、学級代表による全校協議会、放送局・図書局などを通して自分たちで学校を作り上げます。その他、放課後には部活動があります。令和8年度は、8つの部活動が活動しています。

■卒業後の主な進路先について(令和7年度実績)

- 一般就労(就労継続A型含む) ~ 42名(76.7%) 【企業37、継続A5】
- 福祉的就労 ~ 10名(18.1%) 【移行2、継続B型8】
- 進学・その他 ~ 3名(ハローワーク分類により%に含まない)

※本人の納得感を大切にした進路支援
(自己選択・自己決定への納得感100% 卒業時の生徒アンケートより)

学校Webページ

